

2005年9月21日

報道関係各位

株式会社J-オイルミルズ

## J-オイルミルズ「AJINOMOTO さらさらキャノーラ油」TV-CM **パフィーが世界一大きいコロッケ作りに挑戦!**

### 新TV-CM「世界一のコロッケを作ろう」篇

—9月23日(金)から全国オンエア開始—

株式会社J-オイルミルズ(東京都中央区、資本金:100億円、代表取締役社長:佐々木 晨二)は、新発売した「AJINOMOTO さらさらキャノーラ油」の広告イメージキャラクターに、人気アーティストの「PUFFY」を起用し、商品の魅力を訴求するTV-CM『世界一のコロッケを作ろう』篇を、9月23日(金)から全国でオンエアいたします。



J-オイルミルズ「AJINOMOTO さらさらキャノーラ油」  
新TV-CM「世界一のコロッケを作ろう」篇撮影現場より

株式会社 J-オイルミルズ

〒104-0044 東京都中央区明石町8番1号 聖路加タワー17F~19F Tel.03-5148-7100 Fax.03-3211-7107

## ■「AJINOMOTO さらさらキャノーラ油」について

家庭用食用油市場においては、軽い風味で、揚げもの炒めものなど、さまざまな用途に使用できるキャノーラ油の人気の、サラダ油を凌ぐほど高まっています。

2005年8月に新発売した「AJINOMOTO さらさらキャノーラ油」は、従来品と比べ、よりサラッとした軽いおいしさを追求したコレステロール“ゼロ”のキャノーラ油です。同時発売いたしました「AJINOMOTO さらさらキャノーラ油健康プラス」〈栄養機能食品(ビタミンE)〉とともに、中高年齢層のみならず、幅広い方々に支持されております。

## ■TV-CMについて

### ◆幅広い世代に人気のアーティスト・PUFFYを起用

「AJINOMOTO さらさらキャノーラ油」のイメージキャラクターには、大貫亜美さんと吉村由美さんによる2人組ユニット・PUFFY(パフィー)を起用しました。

PUFFYは1996年のデビュー以来、『アジアの純真』『これが私の生きる道』など、数々のヒット曲をリリースしている人気アーティスト。昨年11月には、PUFFYの2人を主人公とするアニメ番組『Hi Hi Puffy AmiYumi』が、全米No.1アニメチャンネル「カートゥーン・ネットワーク」にて放映され、同局の開局以来最高の視聴率を記録するなど、その人気、活躍ぶりは、日本だけにとどまらず海外にまで浸透しています。そんな明るく健康的で親しみやすい彼女たちは、小さな子供から大人までの幅広い世代に支持されており、多くのご家庭でお使いいただける「AJINOMOTO さらさらキャノーラ油」のターゲット層に合致いたします。また、この度の「AJINOMOTO さらさらキャノーラ油」TV-CMは、PUFFYの新しい魅力をお伝えする意外性・話題性のある作品です。

### ◆世界一大きなコロツケ作りにPUFFYも挑戦！

TV-CM「世界一のコロツケを作ろう」篇は、PUFFYが北海道・厚沢部町の人々とともに、世界一大きなコロツケ作りに挑戦する様子をドキュメンタリー風に追ったもの。撮影の舞台となった北海道檜山郡厚沢部町は、ジャガイモの品種「メイクイン」を国内で最初に作付けしたところで、昨年からの町興しの一環として、世界一大きなコロツケを作るイベントを開催しており、今回のCMでは「AJINOMOTO さらさらキャノーラ油」を使って、このイベントを再現しました。

地元の主婦や子供、商工青年部の方々と協力しながら、コロツケ作りを楽しむPUFFYの貴重な料理シーン、巨大な鍋に直径約2メートルのコロツケがクレーンで投入された瞬間の豪快な油の音と歓声、完成した世界一大きなコロツケをおいしそうに食べるPUFFYと地元の人々の笑顔など、見どころ満載の本CMを通じて、「AJINOMOTO さらさらキャノーラ油」の魅力を訴求していきます。

## ■CMストーリー

舞台は北海道厚沢部町の世界一のコロッケ作り会場。「さらさらキャノーラ油を使って、世界一大きなコロッケを作ろう！」という壮大な挑戦が、今まさに始まろうとしています。軽快なリズムが心地よいPUFFYの『Hi Hi』に乗って、商工会商工青年部長・福島さんをリーダーに地元の方々と一緒に、亜美さんと由美さんが大量のメークインに驚いたり、玉ネギを切ったり、材料を一生懸命こねたりしています。大勢の応援団に見守られ、少しずつ完成へと向かう直径約2メートルのコロッケ。巨大な鍋に「AJINOMOTO さらさらキャノーラ油」が2人の手で注ぎ込まれると、いよいよクライマックスの揚げシーンへと突入。クレーンで吊り上げられたコロッケが、“プシュー、ジュワジュワ〜”という豪快な音を立てながら、鍋の中に投入されました。「これはおいしそうだあ〜！」と、こんがりキツネ色に変わっていく様子を興味深そうに見つめる亜美さんと由美さん。そして、ついに完成した“世界一のコロッケ”。白い巨大なお皿に盛り付けられた世界一のコロッケをみんなで取り囲み喜びを分かち合う2人。さっそく2人を応援してくれたチビッコたちや地元の皆さんにコロッケを取り分けると、「おいしい！」と大喜びです。PUFFYをはじめ、地元の皆さんの達成感に満ち溢れた笑顔がとても印象的です。

## ■撮影エピソード

### ●「メークイン」発祥の地、北海道檜山郡厚沢部町で撮影

撮影は、9月上旬、北海道の南部・渡島半島の日本海側に位置する、厚沢部町の町役場駐車場で行われました。ジャガイモの品種「メークイン」を国内で最初に作付けしたことで知られる厚沢部町は、函館市内から車で約1時間、町の82%を森林が占める、豊かな大自然に囲まれた町です。当日は前日までの台風の影響から、この時期には珍しく最高気温が26度まで上がりましたが、鮮やかな緑の山々と澄みきった青い空のコントラストがとても美しく、撮影を行うには絶好のロケーション。PUFFYが巨大コロッケを作る姿をひと目見ようと、平日だったにもかかわらず、地元の皆さんが大勢詰めかけました。朝から始まったコロッケ作り、夕方には見事に完成され、無事、終了いたしました。

### ●小さな子供たちにも大人気！

お揃いの黄色いエプロンを身に付けた亜美さん、由美さんが元気よく登場すると、「亜美ちゃ〜ん！」「由美ちゃ〜ん！」「かわいい〜！」という、悲鳴にも似た声があちこちから聞こえ、まるでライブ会場と見紛う程のたいへんな盛り上がりよう。2人が嬉しそうに手を振ると、さらに現場はヒートアップしました。その中でも特に印象的だったのが、小さな子供たちからのたくさんの声援。しっかり名前と呼ぶその姿に、PUFFYのファン層の広さを改めて思い知らされました。ちなみに、2人がしていたエプロンは、バンダナの生地などを用い、パッチワークで作ったスタッフの完全オリジナル。世界に2つしかない、貴重な代物です。

### ●巧みな包丁捌きに称賛の嵐……PUFFY、感動の涙！？

「厚沢部町を訪れるのは初めて」というPUFFYの2人。撮影中はエキストラを演じた地元の主婦や青年団の方々から、「メイクインは最高よ〜」「家で料理する時は、ココのメイクインを使ってね」と、厚沢部町が誇る名産品のPR攻めに合っていました。また、玉ネギのみじん切りのシーンでは、「ふだんそんなに料理は……」と謙遜しつつも、巧みな包丁捌きを披露していた亜美さんと由美さん。その手際の良さに、現役バリバリの主婦達も「上手だねえ」と絶賛すると、思わず涙ぐむ(実は玉ネギを大量に刻んだため?)というシーンが見られました。

### ●PUFFYも嫉妬する(?)人気キャラクター「さらさらキャノーラ君」

当日はテント、観客のひな段、横断幕、のぼり、風船などの美術飾り付けをし、今年の8月6日に実際に同じ場所で行われたイベントを再現。のぼりや横断幕には、「目指せ!! さらさらキャノーラ油で世界一!!」「大好き!! パフィー!!」などの文字が書かれています。また、「さらさらキャノーラ油」のキャラクター“さらさらキャノーラ君”(着ぐるみ)も、厚沢部町の“おらいも君ファミリー”と共に登場。その愛らしい姿に、子供たちや女学生から「さらさらキャノーラク〜ん!」と、PUFFYに負けないぐらい歓声が上がリ、現場を大いに盛り上げてくれました。

### ●完成までに約8時間

コロッケ作りは地元の商工女性部、ボランティアが中心となり、ジャガイモを担当するグループと、玉ネギ+ひき肉を担当するグループに別れ、2つの行程を同時進行しました。「AJINOMOTO さらさらキャノーラ油」も鍋で1時間ほどかけて温め、170~180度に設定。さらに、作業台の上でコロッケの形を作り、片面に小麦粉、卵、パン粉などを塗って裏返し、油で揚げて全部完成するまで、諸々あわせると約8時間という膨大な時間を費やしました。

### ●コロッケを裏返す作業にひと苦勞

中でも一番苦勞したのが、巨大コロッケを裏返す場面。作業台とぴったり合う板で蓋をし、ワイヤーでしっかり固定、クレーンで吊り上げたところを、一気に回転させるという要領で行いました。少しでもタイミングを間違えば、今までの苦勞が水の泡となる大事なシーンだけに、PUFFYをはじめ、本番前は騒いでいた子供たちも祈るような眼差しで見つめていた決定的瞬間。見事に空中での裏返しが決まると、会場は「やったー!」「すご〜い!」と、大歓声に包まれました。

### ●約1000人前の巨大コロッケ

直径約2メートルのコロッケを作るために用意された材料は、メークイン約150キロに卵が100個、玉ネギとひき肉がそれぞれ50キロ、そして「AJINOMOTO さらさらキャノーラ油」が約250キロ。その途方もない量に、PUFFYの2人も「こんなに使うんですか？」と目を丸くして驚いていたのがとても印象的でした。たつぷりと衣をつけ、こんがりキツネ色に揚がったコロッケは総重量約300キロ、約1000人前という、まさに世界一と呼ぶにふさわしいスケールです。

### ●「ホントにおいしい！」

撮影終了後、1000人前のコロッケは、PUFFYの2人とスタッフらの手で会場にいた人全員に振る舞われ、亜美さんと由美さんも「ホントにおいしい！」と、この日一番の笑顔を見せ、その味を絶賛。一人前をペロリと平らげていました。また、「大変だったけど、コロッケを食べるみんなの幸せそうな顔を見て、疲れも吹っ飛びました」とは、PUFFYと共にコロッケ作りを指揮した地元の商工会青年部長で精肉店経営の福島伸之さんの弁。その充実感いっぱいの表情に、スタッフ一同、今回のCMの大成功を確信しました。

■J-オイルミルズ「世界一のコロッケを作ろう」篇(15秒)TV-CMストーリー



パフィー)  
さらさらキャノーラ油  
でコロッケを作ろう!!



全員)  
わ～～  
パチパチパチパチ...

パフィー)  
コレステロール 0(ゼロ)!!



パフィー)  
AJINOMOTO  
さらさらキャノーラ油!!



パフィー)  
健康プラスも出た!!



Na)  
J-オイルミルズ



## ■PUFFY(パフィー)プロフィール

大貫亜美(1973年9月18日生まれ、東京都出身)

吉村由美(1975年1月30日生まれ、大阪府出身)

1996年、奥田民生プロデュースによるシングル「アジアの純真」でデビュー。その後、「これが私の生きる道」「サーキットの娘」「渚にまつわるエトセトラ」など、次々とヒットを連発。

2004年11月より、全米 No.1 アニメチャンネルである「カートゥーン・ネットワーク」にて、彼女たちを主人公にポップでドタバタなハプニング・エピソードを描いたアニメ番組『Hi Hi Puffy Ami Yumi』が、金曜日のゴールデンタイムで放送をスタート。第1回放送で、同局の開局以来最高の視聴率を記録。アメリカン・キッズを釘付けにし、将来のアメリカを担うヤング・アメリカンを夢中にさせている。

2005年4～5月、アメリカ西海岸ツアー「Hi! Hi! Puffy AmiYumi ROCK SHOW \*\*\* GO WEST!!」を決行。ロサンゼルス、サンフランシスコ等で、計7本のツアーを行い、8月の東海岸ツアー「Hi! Hi! Puffy AmiYumi ROCK SHOW \*\*\* GO EAST!!」でも大成功を収める。そのほか、全米ネットの地上波テレビ「ジミー・キメル・ライブ」への出演、『Paper Magazine』誌5月15日発売号、夏の特大号の表紙を飾るなど、アメリカのメディアも彼女たちに大注目。今、「アメリカでもっともホットな日本人」として全米を席捲中。

## ■TV-CM概要

タイトル : AJINOMOTO さらさらキャノーラ油  
「世界一のコロッケを作ろう」篇(15秒/30秒)

出演 : PUFFY

撮影時期 : 2005年9月

撮影場所 : 北海道檜山郡厚沢部町役場

放映開始日 : 2005年9月23日(金)

放送地域 : 全国

■制作スタッフ

CD	石田 茂富
プランナー	中門 誠/近藤 祐見
監督	柴田 大輔
プロデューサー	古谷 伸二/松田 新一
撮影	明田川 大介
美術施工	笠井 亜紀/高田 久男
ヘアメイク	山口 久勝/永田 壮一
スタイリスト	島津 由行
出演	PUFFY
制作	電通/電通テック

< 本リリースに関するお問合せ先 >

---

電通パブリック リレーションズ

担当: 荒川 TEL : 03-5565-8247 FAX : 03-3546-2073

< 商品に関する報道機関の方からのお問合せ先 >

---

株式会社 J-オイルミルズ

広報・IR 推進室 担当: 武藤 TEL : 03-5148-7103 FAX : 03-5148-7144